

第7期横浜市子ども・子育て会議 第7回保育・教育部会 第35期横浜市児童福祉審議会 第6回保育部会 合同部会 公開議事会議録		
日 時	令和7年12月10日(水) 18時00分～19時00分	
開催場所	市役所18階 みなと6・7会議室	
出席者	石井部会長、稲田委員、大澤委員、尾木委員、芥田委員、清水委員、高杉委員、森委員、山瀬副部会長	
欠席者	大庭委員	
開催形態	公開(一部非公開)	
議 題	報告<公開案件> 【子ども・子育て会議】 (1) 令和9年4月に向けた受入枠確保に関するアンケートの結果及び受入枠確保が必要な重点地域について 議事<非公開案件> 【子ども・子育て会議】 (2) 私立幼稚園等預かり保育事業の新規認定について 議事<非公開案件> 【児童福祉審議会】 (3) 小規模保育事業の法人変更に伴う認可について	
	石井部会長	報告(1) 令和9年4月に向けた受入枠確保に関するアンケートの結果及び受入枠確保が必要な重点地域について、事務局より説明をお願いします。
	事務局	資料に沿って説明
	石井部会長	ありがとうございます。 それでは、ただいまの事務局の説明について、質問や御意見がございましたらお願いいたします。
	清水委員	説明ありがとうございます。既存施設を利用するということで、先を見ると、そこを簡単になしにするというの、在園の方たち、子どもたち、保護者も考えると、なかなか難しいだろうなとずっと悩んでいたところが、既存施設に聞いたアンケートで252人分の受入枠が見えてきたというのは、現場でやっている身としては大変ありがたいというか、先を見て、いい形が見えてきたなと思うので、その感謝だけ申し上げたいと思います。ありがとうございます。
	大澤委員	この受入れを拡大するに当たって、一番の問題は人材確保ということだと思うんですけども、人材確保について何か方策を立てている

	事務局	<p>というようなことがございましたらお知らせください。</p> <p>御質問ありがとうございます。様々な取組を行っておりますが、例えば確保のコンサルタントを派遣すること、新卒の卒業生を迎え入れるために養成校との連携を進めることや、在学中の学生に対して就学資金の貸付けを行って、今年度の仕組みで申し上げますと、卒業後に5年間横浜市内の対象施設にお勤めいただければその返済が免除になるということ、あるいは、無資格の方が保育士資格を取得するための講座、取得の支援、そういったメニューを様々御用意しております。</p> <p>ただ、御指摘のとおり、課題としては、いろいろなメニューをそろえていても、特効薬のような、これをやったから確保できるというものはありません。当部会でも御議論いただきましたが、確保のコンサルタントについても、1年度投入しただけで済むかということでもなくて、地道な努力によって、質が低下して保育士が辞めていくというような負のスパイラルを正のスパイラルに戻していくような取組というのは、1年ではなくて複数年かかっていくという状況でございます。</p> <p>あとは、養成校への入学者を増やそうということで、中学、高校生のうちからのボランティア活動で保育園、幼稚園に関わっていただくような取組も始めておまして、そういったところを地道に工夫しながら、皆さんの御意見も頂戴しながら、進めていきたいと思っております。</p>
	大澤委員 石井部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。大丈夫ですか。</p> <p>それでは、本日の意見を受けて、事務局で引き続き御検討のほうをよろしく願いいたします。</p>
	石井部会長	<p>公開案件は以上になります。</p>